

■ 近代日本画の先駆者

平福 穂庵

ひらふく すいあん

出身地 仙北市（旧角館町）

1844年（弘化元年）～1890年（明治23年）

中国・日本の伝統的な画法を加味した作品と、現実

写生に基づく自由で独特の筆勢ひっせいを見せる作品があ

る。特に対象に迫る写実表現は、新しい日本画の

姿すがたを示した。代表作に「乞食図」こじきず「乳虎」にゅうこなどが

ある。平福百穂ひらふくひやくすいの父。



年譜

- 1844年 仙北市かくのだて（旧角館町）に生まれる。
通称・順蔵つうしょう じゆんぞう、本名・芸うん。
- 1851年 武村文海たけむらぶんかいに絵を習う。
- 1861年 京都に遊学。この頃より「穂庵」の号をなのる。
- 1872年 北海道でアイヌの生活えがを描く。
- 1880年 第3回秋田勸業博覧会かんぎょうはくらんかいに「乞食図」こじきずを出品、
1等賞を受賞。
- 1884年 パリで開催された龍池会主催第2回日本美術縦覧会かいさい りゅうち かいしゆさい じゅうらんかいに
「驚」わしを出品。
- 1890年 第3回内国勸業博覧会かんぎょうはくらんかいで「乳虎」にゅうこが妙技2等賞を受賞。
秋田市で没ぼつ。46歳さい。